

大妻女子大学地域連携推進センター

OTSUMA TIMES

NO.13
2023

大妻タイムズ

地域との
連携

共同開講リレー講座 千代田で学ぶ2023 — 知ると未来が楽しくなる — を実施

地域連携推進センター／千代田区キャンパスコン
ソーシアム※では、秋の公開講座を実施しました。

配信期間 9月15日(金)～10月31日(火)(2講座共通)

実施方法 オンデマンド(動画配信)(2講座共通)

※千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム]の略称

講座 外国語学習は何歳から始めるべきか？
英語習得における年齢要因

講師 服部 孝彦 教授(英語教育研究所)

講座 その建築は持続可能か、それとも持続不可能か。

講師 谷口 新 教授(短期大学部 家政科 家政専攻)

地域連携
活動

「大妻地域連携交流会2023」 を開催

地域連携推進センターでは、本学の地域交流の取り組みを多くの
人に知ってもらい、今後その活動をより深化させていくことを目的に大
妻祭1日目の10月21日(土)に「大妻地域連携交流会2023」を初出展
しました。

メイン会場の講義室では、連携協定締結先である北海道美瑛町の
見どころパネル展示、株式会社JALスカイの現役スタッフによる「航空
教室」の開催、東京ステーションホテルの紹介動画上映や、本センター
の活動を紹介するスライド上映を行いました。

また、連携協定締結先関連ブースの「『丘のまちびえい』の魅力発信」
「能登展(展示と特産品販売)」「ネイチャークラフト体験と展示」に加え、
メイン会場講義室を巡るシールラリーを行いました。参加者たちは、シ
ールを集めて素敵な景品をもらおうと、熱心にブースを回っていました。

近隣の九段小学校の学童プラスバンド「九段Planets」が、大妻祭の
アトリウムステージ企画に参加しました。小学生約40人が「ミッキーマ
ウス・マーチ」「L-O-V-E」「フレンド・ライク・ミー」などお馴染みの曲目
を披露し、来場者を魅了しました。

参加者の声

「地域のことを一度に知ることが
できて良かったです」

「大妻女子大学は、いろいろな地域連携
活動をしていることがわかりました」

「シールラリーで、豪華な景品をもらうこと
ができ、うれしいです」



▲アトリウムステージ「九段Planets」

JALスカイ「航空教室」▶



立体パズル「キューブ26ミニ」を作ろう!▶



昆虫標本作成教室 ▲

▼アンモナイトのレプリカ作り

地域連携
活動

「夏休み小学生講座」を開催

8月12日(土)、地域の教育支援を目的として、夏休み小学生講座2023を開催、103人の小学生が参加
しました。いずれの講座も、各講師の指導のもと、大妻女子大学の学生が参加者をサポートしました。
参加した小学生はみんな目を輝かせ、真剣に、楽しそうに、取り組んでいました。

【講座内容】

A 夏休み自由研究・工作なんでも相談室

講師:金田 卓也 教授(家政学部 児童学科)

B 立体パズル「キューブ26ミニ」を作ろう!

講師:キューブ26ミニ開発者 小梁 修 氏/金 美京 常勤特任講師(家政学部 児童学科)

C アンモナイトのレプリカ作り

講師:木村 かおる 常勤特任准教授(家政学部 児童学科)

D 昆虫標本作成教室

講師:石井 雅幸 教授(家政学部 児童学科)

E 自由研究相談コーナー

講師:石井 雅幸 教授(家政学部 児童学科)

F 読書感想文を書こう!

講師:樺山 敏郎 教授(家政学部 児童学科)

G 合同体験会 (ウォーキングサッカー、ポッチャ、エスコートダンス、太極拳、音楽的な朗読、食育ミニ講座「間食のすすめ」)

講師:堀口 美恵子 教授(短期大学部 家政科 食物栄養専攻)/アーバニスト@千代田のメンバー

読書感想文を書こう!▶



【講座を実施して】

B 「キューブ26ミニ」開発者による直接指導

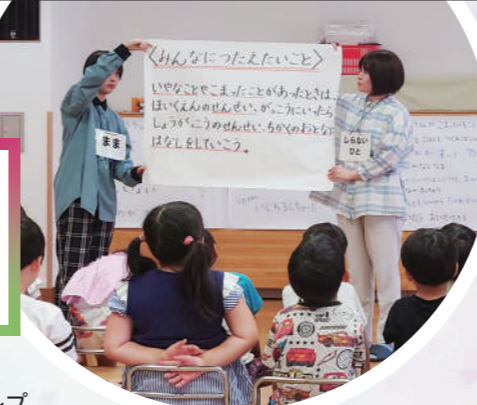
中学校の数学に出てくる4種類の立体模型を26個作り、それを使って立体パズルの組み立てに挑
戦。立体パズルを組み立てながら、数学の面積と体積を直感的に理解できるように、正多面体につ
いて一緒に学びました。解説を一言も聞き漏らすまいと積極的に前に出て開発者を取り囲み、質
問・応答で盛り上がっていた保護者の姿が印象的でした。

F 全国的な読書感想文コンクール審査員経験者が書き方のコツをアドバイス

読書を通して「何を、どれほど掘り下げて考えたのか」「本の内容を自分に引き付けながら、自分自身
にどのような変化が起きたのか」を読み手に伝えるように書くことが大切です。読書感想文の一定
の型をつかみ、それをベースにしながら、自分ならではの型を生み出し、自分ならではの言葉で綴っ
ていきましょう。本の内容(あらすじ)は短めに、自分のこと(今と未来)を素直にいっぱい伝えること
が重要です。

地域連携 活動

多摩企画「多摩市大学連携 マッチングプロジェクト」に参加



◀ロールプレイ

今年度の多摩市大学連携マッチングプロジェクト「児童虐待防止啓発活動 市内認可保育所での健康教育(ロールプレイ)」に、人間関係学部の蔵野ともみ教授、山本真知子准教授、人間福祉学科の学生有志が参加しました。これは多摩市子ども家庭支援センターと協働し、市内保育所で学生がロールプレイを通して園児に児童虐待防止教育を行う取り組みです。園児が早期に周囲の大人に虐待の兆候を発信できるようにし、行政が虐待の未然防止や家庭支援を行います。

7月20日(木)に多摩キャンパスで、子ども家庭支援センター職員による説明会を開催したところ、15人の学生がプロジェクトへの参加を希望。9月7日(木)には、市内保育所において学生3人がこの活動に参加しました。学生は園児の前で

保育所や子ども家庭支援センターの職員とともにロールプレイを行い、園児からは活発な意見が出ていました。今後、他の保育所でも活動を行う予定です。

参加学生の声

「子どもたちが感じた素直な気持ちを伝えてくれている印象を持った」

「困ったことや嫌なことがあったときに、大人に発信する重要性を伝えていくにあたっての、難しさと大切さを実感することができた」

「子どもの権利擁護としてのロールプレイに、大きな意味があると実感した」

産学連携 協定

城南信用金庫との産学連携協力に 関する協定を締結

大妻女子大学と城南信用金庫は、10月30日付で、「大妻女子大学と城南信用金庫との産学連携協力に関する協定」を締結しました。

本協定は本学と城南信用金庫が、地域社会の発展に寄与するため、相互に連携・協力することを目的としています。今後は、研修および教育・研究、インターシップをはじめとするキャリア形成支援などの分野での連携・協力を深めていきます。



城南信用金庫・川本 恭治 理事長(左)、伊藤 正直 学長(右) ▶

地域文化 理解

2023年度前期集中授業「地域文化理解 I」を開講



▲東京ステーションホテル見学

JALスカイが目指すサービスについて▶

受講学生の声

「この授業で、普段接することのない方から多くの学びを得ることができた。今後の大学生活や就職活動に生かしていきたい」

「グループディスカッションでは積極的に発言することの大切さを学んだ。フィールドワークでは、現場で働いている方の生の声を聞くことができ、とても貴重な体験だった」

「京都女子大学、二松学舎大学の学生と、授業を通じて交流を深めることができた。授業は学びが多く、密度の濃い充実した5日間だった」

9月4日(月)~8日(金)に前期集中授業「地域文化理解 I」を実施しました。協定を締結する京都女子大学から5人、千代田区キャンパスコンソーシアム*構成大学である二松学舎大学から5人、本学から22人、合計32人の学生が受講しました。

この授業の目的は、国内外の動き、国際社会と日本との関係を学び、ホテル業界や航空業界のフィールドワークを通じて、社会人となる心構え、コミュニケーションスキルを体得すること。女性の働き方など就職活動にも生かせる知識や実践力を身につけることを目指します。

授業のハイライトは、キャンパスを離れて、企業の現場で担当者から直接ホスピタリティを学ぶこと。授業2日目は、東京ステーションホテル総支配人・藤崎斉氏による同ホテルの歴史と事業戦略の講義を受講。午後には同ホテルを見学し、設備の説明を受けました。4日目は、羽田空港に隣接するJALスカイ羽田事業所で、空港のカウンター業務や安全管理の現場を見学、安全・安心確保最優先で業務に取り組んでいると説明を受けました。

*「千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム」の略称

【授業概要】

- 1日目
 - 担当講師 清水 克彦 非常勤講師(文化放送報道スポーツセンター)
 - 実施場所 千代田キャンパス(終日)
 - 開講挨拶オリエンテーション「インパウンドの光と影」
 - 世界の中の日本「台湾から世界が見える」「日本とアジア、日本と米国」「日本の社会変容」
- 2日目
 - 担当講師 藤崎 斉 総支配人、八木 千登世 副総支配人、ホテルスタッフ(東京ステーションホテル)
 - 実施場所 千代田キャンパス(午前)
 - 東京ステーションホテルの歴史と事業戦略 ■ホテルの業務と総支配人の役割
 - 実施場所 東京ステーションホテル(フィールドワーク)(午後)
 - 東京ステーションホテル見学 ■女性キャリアへの道
- 3日目
 - 担当講師 JALスカイスタッフ、日本航空スタッフ
 - 実施場所 千代田キャンパス(終日)
 - 航空業界概論 ■JALスカイが目指すサービスについて
- 4日目
 - 担当講師 JALスカイスタッフ
 - 実施場所 羽田空港(フィールドワーク)(終日)
 - 空港業務について「オペレーション&旅客サービス」「ロードコントロール」
 - 安全管理について「グランドハンドリング」
- 5日目
 - 担当講師 清水 克彦 非常勤講師(文化放送報道スポーツセンター)
 - ゲスト講師 中垣 陽子 教授(二松学舎大学 国際政治経済学部 国際政治経済学科)、大野 真 教授(文学部 コミュニケーション文化学科)
 - 実施場所 千代田キャンパス(終日)
 - ウィズコロナでの就職活動「就職活動実践講座」
 - ゲスト講師による講義「少子化の背景と未来」「宮崎駿のアニメを読み解く」 ■まとめ閉講挨拶